3.4. 天井の入力

- [ビュー一覧]より「平面図」-「1.1 階平面図」を選択します。
- ② ツールボックスの[スラブツール]の
 右横の▶をクリックして[お気に入り]を表示します。
- ③ [お気に入り]の「★1 階天井」を ダブルクリックして、選択します。
- ④ ツールボックスの[スラブツール]を
 ダブルクリックして、設定ダイアロ
 グを表示し、各種設定を確認します。
- ⑤ 複合構造「★天井: P B 9.5 木軸下地」
- ⑥ 基準面の位置 「下端」
- ⑦ 配置フロアまでのオフセット「2400」
- ⑧ 配置フロア 「1.1FL」レイヤ 「天井」
 ※この時点で非表示になっているの で、入力時に「表示」
- ⑨ 「OK」をクリックします。
- ⑩ 情報ボックスの「図形作成法」のポ リゴンを選択します。
- 2 階平面図を参照します。
- [ビュー一覧]―[2.2 階平面図]の上で
- 右クリックして、[参照として表示]を クリックします。
- ④ 天井周囲のコーナーをクリックし、 天井を入力します。

※参照表示した2階平面図が見づらい場 合は、参照パレットで、参照図の色や濃 さを調整できます。



- 15 同様に、[お気に入り]から「★玄関軒天 板張」を選択し、玄関ポーチに入力しま す。
- 16 天井高さは「2070」とします。

◇吹き抜け周りの壁を入力します。

- ① 「壁ツール」の[お気に入り]より 「★吹き抜け壁」を選択します。
- 2 階床を参照表示します。



ΠЛΛ

(5)

基準線

8

Ŕ.

▲内壁: PB12.5片面

 \sim

 \sim

6

0.0

400.0

2400.0 (7)

基準レベル: GL 🕨

3000.0

▶ ▲ 断面形状のオフセット形状変更

▶ 2 平面図と断面図 ト 🕝 モデル

▶ 🖹 分類とプロパティ

● 壁-間仕切り

▶ 帰 構造解析のパラメータ

- ③ 壁の設定を確認します。
- ④ 複合構造一「★内壁:PB12.5 片面」
- ⑤ 基準面 「外側」
- ⑥ 壁上部 「2FLフロア オフセット0」
- ⑦ 壁下部 「+2400」
- ⑧ レイヤ 「壁-間仕切り」
- と設定をします。

開口部に沿って、壁を入力します。

⑨ 床開口部の交点をクリックして壁を 入力します。



☆,

配置フロア:

1. 1FL (現在)

▼ □ 1 形状と位置 上部リンク:

2.2FL (配置フロア + 1)

デフォルト

Þ

4

_____ 28.5

//α **90.00°**

₩ 0.0

キャンセル OK

3.5. 窓の入力

◇窓の入力をします。

- [ビュー一覧]より
 「平面図」-「1.1 階平面図」を選択します。4.3.1 参照
- ② ツールボックスの[窓ツール]の右横の
 ▶をクリックして[お気に入り]を表示します。
- ③ [お気に入り]の「★AW引き違いサッシ」をダブルクリックして、選択します。
- ④ ツールボックスの[窓ツール]をダブル
 クリックして、設定ダイアログを表示します。各種設定を確認します。
- 窓の形状を設定します。
- ⑥ 様々な形式の窓が選択できます。
- ⑦ 窓の大きさを設定します。
 - ・窓の幅 「1650」
 - ・開口部の高さ 「2000」
 - ・窓下端の取り付け高さ 「0」 とします。
- ⑧ 窓の配置基準を決めます。「中心」を 選択し、開口部の中心を配置基準と します。
- ⑨ OK をクリックして、窓の設定ダイア ログボックスを閉じます。
- ① [グリットスナップ]をONにします。
- 配置する壁にカーソルを近づけて、 チェックカーソルになるところでク リックします。
- ② 「Tab」キーを押して、太陽マークが 外部になるように設定します。
- 開く方向でクリックして、窓の入力 を確定します。
- 他の窓も同様に設定し、入力しましょう。







3.6. ドアの入力

ドアの入力をします。

- (5) [ビュー一覧]より 「平面図」-「1.1 階平面図」を選択 します。4.3.1 参照
- (i) ツールボックスの[ドアツール]の右横
 の▶をクリックして[お気に入り]を表
 示します。
- ① [お気に入り]の「★玄関ドア 引き違
 い戸」をダブルクリックして、選択します。
- 18 ツールボックスの[ドアツール]をダブ ルクリックして、設定ダイアログを 表示します。各種設定を確認します。
- 19 ドアの形状を設定します。
- 20 様々な形式の窓が選択できます。
- 21 窓の大きさを設定します。
 - ・窓の幅 「1600」
 - ・開口部の高さ 「2200」
 - ・ドア下端の取り付け高さ 「-150」
- 22 ドアの配置基準を決めます。「中心」 を選択し、開口部の中心を配置基準 とします。
- 23 OK をクリックして、窓の設定ダイア ログボックスを閉じます。
- 24 [グリットスナップ]をOFF にします。4.3.1 参照
- 25 配置する壁にカーソルを近づけて、 チェックカーソルになるところでク リックします。
- 26 「Tab」キーを押して、太陽マークが 外部になるように設定します。
- 27 開く方向でクリックして、ドアの入 力を確定します。









◇玄関ポーチの開口部を入力します。

- [ビュー一覧]より
 「平面図」-「1.1 階平面図」を選択します。4.3.1 参照
- ② ツールボックスの[ドアツール]の右横の[▶]をクリックして[お気に入り]を表示します。
- ③ [お気に入り]の「★玄関ポーチ開口部 単純開口」をダブルクリックして、 選択します。
- ④ ツールボックスの[ドアツール]をダブ ルクリックして、設定ダイアログを 表示します。各種設定を確認します。
- ⑤ ドアの配置基準を決めます。「中心」 を選択し、開口部の中心を配置基準 とします。
- ⑥ OK をクリックして、窓の設定ダイア ログボックスを閉じます。
- ⑦ [グリットスナップ]をOFF にします。
 4.3.1 参照
- 8 配置する壁にカーソルを近づけて、 チェックカーソルになるところでク リックします。





第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています ©2021 公益社団法人日本建築士会連合会 38

1 階建具の入力

\star	窓・ドア設定は	
Γ	GRAPHISOFT Help CenterJ	
Γ	ドア/窓の設定と開口部」	にて
詳	L	<

★詳しくは	
「 <u>GRAFHISOFT ナレッジセンター</u> 」	
「オリジナルのドア/窓を作成するフ	5
法」にて、解説があります。	



©2021 公益社団法人日本建築士会連合会

2階の建具入力

第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています ©2021 公益社団法人日本建築士会連合会

3.7. 階段の入力

- [ビュー一覧]より
 「平面図」-「2.2 階平面図」を選択します。
- ② ツールボックスの[階段ツール]の右横の
 ▶をクリックして[お気に入り]を表示します。
- ③ [お気に入り]の「★木製階段ささら」を ダブルクリックして、選択します。
- ④ ツールボックスの[階段ツール]をダブル クリックして、設定ダイアログを表示し ます。各種設定を確認します。
- ⑤ 設定の内容を確認します。
- ⑥ [形状と位置]
- ・階段幅 「780」
- ・蹴上数 「14」
- ・蹴上げ 「200」
- ・踏み面 「220」
- ・階段配置基準線 「左」
- ・蹴上高さは後から自動で計算されます。
- ・レイヤ 「階段」

- ⑦ ツールバーの入力方法の右側に手すりにチェックを入れます。手摺りが階段と一緒に入力されます。
- ③ ツールバーの[入力方式]を[下向き]にします。

 階段の配置スタート地点を、「下から上」または「上から下」と指定ができます。

◇階段を図の位置に入力します。

- 記点をクリックして階段の位置を決めます。
- 階段の取り付け方向を指示し、クリ ックします。

★階段入力の設定等は

紹介しています。

[GRAPHISOFT Help Center]

「階段ツールの編集モード」にて詳しく

「階段設定:形状と位置」

3.8. 手摺の編集と入力

3.8.1. 階段の手摺り

手すりは個別の入力も可能です。

- 〔手摺ツール〕の右側▶をクリックし、
 [お気に入り]を表示します。
- ② 「06手摺」→「★階段手摺りスチ
 ール」をダブルクリックします。
- ③ [デザイン]→[マジックワンドでポリ ゴンを作成]を選択します。

 ④ 階段の基準線(左側)にカーソルを 合わせると、マジックワンドカーソ ルに変わります。
 ※マジックワンドは、スペースキー を押しながらマウスカーソルを合わ せることで同じことができます。

> 手すりの場合は、アウトラインが 階段に沿って表示されるので、どこ にかかる手すりかが、配置前に確認 することができます。

クリックすると、手摺が配置されます。

- 3.8.2. 吹き抜けの手摺りを入力
 - [手摺ツール]の右側[▶]をクリックし、 お気に入りを表示します。
 - ② 「06手摺」→「★階段手摺りスチ ール」をホールの階段側と吹き抜け 側の2面に入力します。
 - ③ 図のように、2面の交点をクリックします。

※レイヤは「手摺り」

3.8.3. バルコニーの手摺りを入力

- 〔手摺ツール〕の右側▶をクリックし、 お気に入りを表示します。
- ② 「06 手摺」→「★バルコニー手摺
 り」をバルコニー三面に入力します
- ③ 図のように、交点をクリックし、手摺を入力します。※レイヤは「手摺り」

第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています ©2021 公益社団法人日本建築士会連合会 44

3.9. 設備、家具入力

- [ビュー一覧]より
 「平面図」-「1.1 階平面図」を選択します。4.3.1 参照
- ② ツールボックスの[オブジェクト]の右 横の▶をクリックして[お気に入り]を 表示します。
- ③ [お気に入り]の「★キッチンアイラン
 ド 2400」をダブルクリックして、選択します。
- ④ ツールボックスの[オブジェクトツー ル]をダブルクリックして、設定ダイ アログを表示します。各種設定を確 認します。
- ⑤ 設定の内容を確認します。
- ⑥ 配置フロア 「1.1 F L」
- ・配置フロアまでの下端高さ 「0」
- ・レイヤ 「オブジェクト」
- ⑦ 「グリッドスナップ]をオフにします。(ショートカット:Alt+S)

※[2Dビュー]内でクリックすると、配置 角度を45度ずづ変更できます。

④ [図形作成法][直角] に切り替えて入 力します。

TIPS:スラブツールで棚を作成 簡単な棚はスラブツールを使用して作成 出来ます。 ※詳しくは 「<u>GRAPHISOFT Help Center</u>」 「<u>スラブツールの設定</u>」にて詳しく

紹介しています。

オブジェクトは全て[お気に入り]に登録しています。[お気に入り]より選択をし、平面で配置をし ます。

第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています ©2021 公益社団法人日本建築士会連合会

3.10. 屋根の入力

- 3.10.1. 2 階屋根の入力
 - ① 屋根ツールを使って、屋根を入力します。
 - プロジェクト一覧から [.軒高] を選びま す。
 - ③ ツールボックスの[オブジェクト]の右横の
 ▶をクリックして[お気に入り]を表示します。
 - ④ [お気に入り]の「★屋根」をダブルクリックして、選択します。
 - 「屋根ツール」をダブルクリックして、屋根の設定ダイアログを表示します。
 - ⑥ [複合構造]「★屋根:カラーGL鋼板タテハゼ葺」
 - ⑦ 勾配 「10%」
 - ⑧ 屋根編角度を垂直に
 - ① 配置フロア 「軒高」
 - ⑩ 配置フロアまでの基準線のオフセット 「0」
 - ⑪ 切り取りボディ 「輪郭の下」
 - 迎 レイヤー 「屋根」
 - 図形作成法:「単一平面」を設定します。
 - (4) 組み立て法: [矩形] を設定します。
 - 昼根を2枚入力します。
 - 16 桁ラインを決めます。
 通り芯 11 上で軒ラインを 2 点クリックして
 指示します。
 - ① 屋根勾配の上昇方向でクリックします。
 - 18 グリッドスナップを ON にして、屋根の形 状を矩形入力します。
 壁芯の交点でクリックします。
 ※勾配単位は「%」、「°」の切り替えができます。

- ⑲ 同様に通り芯 E を桁に指定してもう一枚の 屋根を入力します。
- 2 枚重なっている部分の処理をおこないます。

それぞれ重なっている頂点を E 通りと 11 通りの交点に移動させます。

- 21 次に軒を出します。 軒を出す辺をクリックします。ペットパレ ットの[辺をオフセット]を選択します。800 とキーボードで打ち込み Enter を押します。 屋根が中心線より800伸びました。
- 22 同様に他の辺も軒の出を調整します。

3.10.2. **下屋根の入力**

◇1 階の屋根を入力します。

- します。
- ② ツールボックスの[オブジェクト]の右横 の▶をクリックして[お気に入り]を表示 します。
- ックして、選択します。
- 屋根の設定ダイアログを表示します。

★屋	根の	設定領	手は					
Г <u>G</u>	RAPH	IISOF	T He	p Cer	nter_			
Γ	屋	根	ツ	-	ル	の	設	定
に		て		詳		L		く
紹介	して	いまう	す。					

第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています ©2021 公益社団法人日本建築士会連合会

49

3.11. 壁のクロップ

壁を屋根勾配に接続(クロップ)します。 クロップは3Dにて作業します。 [タブバー]の[3D]を選択して3D画面にしま

- す。
- ぼ根から出ている壁を全て選択します。
 (SHIFT+クリック)
- ② 壁を選択したまま、屋根も選択します。
- ③ メニューバーの[デザイン]→[屋根修 正]→[単一平面屋根でクロップ]を選択し ます。
- ④ [要素上部をクロップ]を選択し、[クロップ]をクリックします。
- ⑤ 3 D で確認しましょう。

※複数の屋根にかかる壁があった場合は、 関係する壁と屋根をすべて選択して、 右クリックし、[接続]-[屋根/シェルで要素 を切り取り]でうまくいく場合があります。

🙆 単一円	一面屋根までク				ſ		
1	東美上部をた	דיים					
	/ STALLING	097					
$\Box p c$)要素下部をク	マロップ					
クロップ要	素タイプ:						
☑璧、档	、および梁						
	ル変						
	CIEX						
2,57							
= ライブ	刘部品						
000						1	
]壁/柱の上端	を最高点	に設定				
注記:元(り局さ設定は失	ะกกรร	•				
			キャンセル	1	DWZ.		
					21		
デザイン(D) 建築ツ 機造I	ドキュメント(C) 7 ール ンジニアリングツール	₹プション(O) ▶ ▶	7-49-9(1 □ - 8 8864533:) ウィンドウ(W) - 🔐 (王二)	ヘルプ マ (話話) 相知	(H) ☆ →	
	ドキュメント(C) 3 ール ンジニアリングサール ジジニアリングサール ジジニアリングサール ジンニアリングサール 建築(2) 建築を調点 二、(2)、(2)、(2)、(2)、(2)、(2)、(2)、(2)、(2)、(2)	オブション(O) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	7-49-9(1 □ + 3 = 3 = 4 = 4 = 11-) フィンドウ(W) - 読[王) 5 立風回]	 ヘルブ (本) (*) (*)	(H) ☆ → NUTE: ☆	
デザイン(D) 爆撃ン 爆撃ン 爆撃ン 爆撃ン 爆撃 の アンフル ペ アンフル ペ アンフル マンシン マン	ドキュ3ンド(C) 1 ジェアリングラール シジニアリングラール シジニアリングラール シジニアリングラール 建築(S) とジ要素編集) 、こを目転 になります。 など目前 「なり下でポリンを作 リンドでポリンを作 切ンドでポリンを 構成 しい。 、 「なり」 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	オブション(O) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	7-40-9(1 → 3) 24ンドウ(W, M) - 基本 (江二) S 立兩回3	 ヘルブ ござい (1) (1)	(H)	
デザイン(D) 様本) 様本 本語 本語 マンフル ボーン ボー ボー ボー ボー ボーン ボー ボーン ボー	ドキュングト(O_2) ル ジジニアリングナール ジジニアリングナール ジジニアリングナール 建築工作の など日本 など日本 になど になど になど になど になど になど になど になど	オブション(O) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	7-40-2(1 - 2 - 3 - 2 ∓(4) ∓(4) -	 ションドウ(W, W) ションドウ(W, W) シュンドウ(W, W) ションドウ(W, W) ションドウ(W, W) ションドウ(W, W) ションドウ(W, W) ションドウ(W, W) ションドウ(、 へルフ (へルフ (注意) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ	(H) ≪ → ≪ ↓	
アブイソ(0) 温電ブ 温電ブ 振電工 第二回方 三回方 「「「「」」」」」 三回方 「「」」」」 三回方 「「」」」 三回方 「「」」」 三回方 「「」」」 三回方 「「」」」 三回方 「「」」」 三回方 「「」」」 三回方 「」」 「」」」 「」」 三回方 「」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 <	ドキュスシト(O) 2 ジンフリングワール ル シンニアリングワール ジンニアリングワール 装置(国)、 (国)、 ジンドでポリンと作 グンドでポリンと作 が正 個をたりたご菜は 加 のールが変正 正 価 働 た 一 二 四 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	175 a2/(0) Ctrl+7	7-40-9(1 - ← A = - ← A ← A) ラインドラ(W, - ・ ・ ・	- Cont - ヘルブ - ロジ - ロジ - ロー - ロー - ロー - ロー - ロー - ロー - ロー - ロー	(H) (A) - HATTR: (A) -	
デザイン(0) 建築フリー 建築フロカに 200万 200万 </td <td>ドキュスシト(C) 2 2 ル フジニアリングソール・ ジジニアリングソール・ 建築(二)、 ごを開発 二(二)、 にを開発 二(二)、 にを開発 にでに開発 にでいた にでに開発 にでいた にでに開発 にでいた にでに開発 にでいた にでに開発 にでいた にでに開発 にでいた にでいた にでに開発 にでいた にでいた にでに開発 にでいた に に に い に に い に い に に い に い に い い に い に い に い に い に い に い に い に い に い に い に い に い に い に い い に い い に い に い に い に い に い に い に い に い に い い い に い い い に い い い い い い い い い い い い い</td> <td>₹75-a2/(0) Ctrl+7 prdt</td> <td></td> <td>) ラインドラ(W, - ショロエ) 5 立風回] 5 立風回] 5 立風回] 7 (2)</td> <td>- C</td> <td>(H)</td> <td></td>	ドキュスシト(C) 2 2 ル フジニアリングソール・ ジジニアリングソール・ 建築(二)、 ごを開発 二(二)、 にを開発 二(二)、 にを開発 にでに開発 にでいた にでに開発 にでいた にでに開発 にでいた にでに開発 にでいた にでに開発 にでいた にでに開発 にでいた にでいた にでに開発 にでいた にでいた にでに開発 にでいた に に に い に に い に い に に い に い に い い に い に い に い に い に い に い に い に い に い に い に い に い に い に い い に い い に い に い に い に い に い に い に い に い に い い い に い い い に い い い い い い い い い い い い い	₹75-a2/(0) Ctrl+7 prdt) ラインドラ(W, - ショロエ) 5 立風回] 5 立風回] 5 立風回] 7 (2)	- C	(H)	
アデイン(D) 建築フ 建築フ 福田 フロアに 福田 フロアに 福田 フロアに 福田 フロアに 福田 ノーン	ドキュスシト(C) 2 フ レ フジニアリングラール・ ジンニアリングラール・ ジンニアリングラール・ ジンニアリングラール・ 参写(S)	+75-32(0) Ctrl+7 part	7-69-9(0) ラインドラ(W, - 図 (正)) 5 立面(四) 5 立(四) 5 立(四)<	- C	(H)	
	ドキョント(C) 2 アンフジール レンジニアリングンール シンジニアリングンール シンジニアリングンール シンジェアリングンール シンジェアリングンール シンジェアリングンール シンジェアリングンール したい ののの、 シンジェアリングンール したい ののの、 シンジェアリングンール したい のの、 シンジェアリングンール したい のの、 シンジェアリングンール シンジェアリングンール シンジェアリングンール したい のの、 シンジェアリングンール したい のの、 したい のの、 したい のの、 したい のの、 したい のの、 したい のの、 したい のの、 したい のの、 したい のの、 したい のの、 したい のの、 したい のの、 したい のの、 したい のの、 のの、 したい のの、 のの、 のの、 のの、 のの、 のの、 のの、 のの	₹752π2(0) + + + + + + + + + + + + +	7-69-9(0) ラインドラ(W)、 ※ 正) 5 立原回] 5 立原回] 	- Coll - ヘルノフ - ロ - ロ - ロ - ロ - ロ - ロ - ロ - ロ - ロ - ロ		
	ドキュクシト(C) 2 フ ル ジンニアリングラール ジンニアリングラール ジンニアリングラール ジンニアリングラール ジンニアリングラール ジンニアリングラール 建築の(L) 二、 二、 二、 二、 二、 二、 二、 二、 二、 二、	₹7≥a>(0) + + + + + + + + + + + + +	7-ん9-9(1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 9、212129(W) 第2121) 5 立面回 	→ へんじ オ ズ (超) ************************************	(H)	

3.12. ゾーンの入力

ゾーンを入力します。部屋(スペース)に関 する情報を入れることができ、室名や面積な どを表示することができます。

- [グリッドスナップ]をオンにします。
 (ショートカット:Alt+S)
- ② 「ゾーンツール」をダブルクリック して、ゾーンの設定を開き、次のように設定します。
 名前:『浴室』
 材質の塗りつぶしを使用:オフ
 表面塗りつぶしの追加:オン
 表面塗りつぶしのタイプ:『背景』
 表面塗りつぶし背景ペン:『102』
- ③ 組み立て法:「基準線」を選択します。
- ④ 浴室の中心で、クリックします。
- ⑤ カーソルが、 ハンマーに変わったら、 もう一度クリックすると、室名が表 示されます。
- ⑥ 他のゾーンも図のように入力しましょう。
- ⑦ 玄関と浴室以外は「表面塗りつぶしの追加:オフ」
- ⑧ キッチン、LD、階段室、玄関は、 組み立て法:[手動]で入力します。
- ⑨ 一覧表や仕上げ表はゾーンの情報から作成されます。

1 階平面図

2 階平面図

3.13. 構造の入力

3.13.1. 基礎の入力

GLフロアに、壁ツールを使って基礎を 入力します。

- [フロアタブ]をクリックし、『GL』 フロアに変更します。
- レイヤは「基礎伏図」にします。
- ■基礎外周の入力
- 1階平面図を下絵に表示します。ツ ールバーから[参照]をオンにします。
- ② [参照]の右側▼をクリックし、「参 照を選択」→「1 階平面図」選択し ます。

	参照を選択・
Þ	🔎 参照を有効
	▶ 参照を現在に切り替える
	□→ 参照を移動
	◇ 参照を回転
	🔄 デフォルト位置にリセット
	⑦ 参照を再構築
	□→ 参照を一時移動
	E 比較線を表示/障す
	🔄 参照を上に表示
	🔞 塗りつぶしおよびゾーンを透過表示
	- 参照パレット

ΩД

基準線:

9

Þ

-100.0

-100.0

▶ ▲ 断面形状のオフセット形状変更

基準レベル: GL 🕨

配置フロア:

-1. 設計GL (現在)

▶ 2 平面図と断面図

▶ 評書構造解析のパラメータ
 ▶ 目分類とプロパティ

ト 🗂 モデル

≝∮ ③ ※基礎

5

 \sim

<u>∏</u>α 90.00°

₩ 52.5 (8)

キャンセル OK

- ③ ツールボックスの「壁」の右側▶を
 クリックし、お気に入りー「基礎」
 ー「★基礎 外周 立上リ」を選択します。
- ④ 上部フロアまでオフセット 「-158」
- ⑤ 下部フロアまでオフセット 「-100」
- ⑥ ビルディングマテリアル「コンクリート」
- ⑦ 壁厚 「150」
- ⑧ 壁のより 「52.5」
- ⑨ レイヤ:「※基礎」

 (1) [図形作成法:矩形] に切り替えて外壁ライン をなぞるように入力します。

9 (E)	礼た壁の設定	the difference	7 ×
公,			選択内容::
+ 🗖	1 形状と位置		
上部リ	>9:		
1. 1	FL (配置20ア + 1)	- <u>I</u> I.	A
(F	-158.0	1 22/99-	-1 ,
	542.0		Ø ∏ 150.0
	-100.0	пл	<u>∧</u> <u>//a</u> 90.00*
2番7	ויקם		
-1.	sthGL (現在)	~	
	幕準しない G	N	
	-100.0		TT 52.5
	Incompany and a newson		[
· -	MILLER WILLER	292	
* 82	一 平闻风之断闻风		
*	平面開表示	###707.0.7	0
	平面図表示	お影響と上部線	(H) (B)
	动脉面	相対範囲	2
*	切断面		
-	司/ 切断線	実線	
. 6	n ∓∓u	0.15 mm	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
the s	da:		
CT.	88 RADE - RAR-ALT		接合部順位:
4	200		- 1 + ⊂ 8 €
UV.	₩ ^12F - 919=9500	···· · ·	v
10	100 ペイント - タイタニウムホウ	P	ログの詳細
Ø	黒材質: 隣接する壁から上書き		
「 「 」 テク	スチャー基準を合わせる		
 一 一 テクステ 	スチャー基準を合わせる や配置を空列:		デクスチャをリセット
日本日 日本日 日本日 ドウステ	スチャー基準を合わせる - 17 記書を整列: - 17 記書を整列:	[<u>v_v</u>	デクスチャをリセット

第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています ©2021 公益社団法人日本建築士会連合会

■基礎立上り 内部の入力

内部の基礎立ち上がりの設定に変更しま す。

 配置フロア -1.設計GL(現在)より 50あがりに設定します。

■基礎スラブの入力

- ツールボックスの「スラブ」の右側
 ▶をクリックし、お気に入りー「基
 礎」ー「★ベタ基礎スラブ」を選択します。
- ② 「図形作成法ポリゴン」を選択します。
- ③ 基礎立ち上がりの内側のコーナーで クリックして図示の部分にスラブを 入力します。
- ④ 図のようにスラブを入力します。

- ■フーチングの入力 ① ツールボックスの「梁」の右側の▶ をクリックし、お気に入り一
 - 「基礎」−「★基礎ハンチング」を

選択します。

第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています ©2021 公益社団法人日本建築士会連合会

3.13.2. 柱の入力

■通し柱の設定

- ツールボックスの「柱」の右側の▶
 をクリックし、お気に入りー「計画」
 ー「★柱 通し柱 120*-120」を選択します。
- ② 「図形作成法:単純」を選択します。
 P61 の図の赤丸の位置に入力します。

オプション(C マーマン 🚺	D) F-47	ーク(T) 谷・	יאראלי איז איז ד <u>א</u> ד	<u>^ (w)</u> ל זַ¤ַ	√ルプ(H 算)	2	2 1
Þ	図形作成法	D	1	Øv	構造:	• []	□木材	-軸組材
	×	研究化作成	法: 単純	(G) 🕮	ו			

③ 設定図を参考に、柱の設定を確認します。

選択した柱の設定		? ×
公,		選択内容: 1 編集可能: 1
 注 ビクメント 砂 平面以近面回 河 構造解析のパラメータ B 分類とプロパティ 	120.0 120.0 5403.0	
-	 ● 位置決め 上却シク: (2: 2FL 保護プロア + 1) ● (2560.0) ● (43.0) ● (43.0) ● (43.0) ● (43.0) 	<u>п</u> П. Д. Д _а 90.00°
-	1. 1FL (現在) ✓	ソーンとの制達: ソーン境界 ~
	⊥m: / / 90.00* 下部: / / / ✓ / / /	1824年00歳準額:
	● ● 柱	 キャンセル OK

	· ^	○ 選択した柱の設定				?
3.	递択内容:1 編集可能:1	\$7.			谨択内	会:1編集可能
C 柱	120.0	M .			AND OF 21	EL: A GROWT - 18
コカがかいト		した症	120.0	- P		
		1 セグメント	120.0	6		
9 半回図と町回図		(圖 平面图上断面图				
〕構造解析のバラメータ	Part	同 構造解析のパラメータ				
」分類とプロパティ	5403.0	国分類とプロ(ティ)	(b) 5403.0			
	T T					
	 Ⅲ ▲ ■ ■ ■ 					
		-	- 回 平面図と断面図			
			 回 平面図と断面図 一 平面図表示 キテフロマ 			21
	· 図 備造 □ ○ 亞 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		 ・ 回 早面図と新面図 ・ ・ ・	配置および上1707 始影場と上部場		21 68
	· ∭ #å ○ ፲ □ ○ ፲ □ ↓ 120.0 ↓ 1	-	 ・ 回 平面図と新面図 ・ 平面図表示 表示フロア 平面図表示 切断面 	配置および上17ロア 投影線と上部線 相対範囲		神機化
	· ⊘ #2 · ⊘ #2 · ∠ #2 · ∠ #2 · ∠		 ・ 一 学員図え新賞図 ・ ・ ・	配置および上17ロア 投影線と上部線 相対範囲		補閥做
	· ※ #å ○ ∑ □ △ □ ↓ 120.0 □ ★材-#給材 • ↓ 120.0 ○ ↓ • ↓ ↓ 120.0 ○ ↓ • ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓		 ② 甲面間と新面間 甲面回表示 表示2027 平面回表示 切所面 切所面 12 一切所面 	配置および上17ロア 投影線と上部線 相対範囲 実線		nia (B) (H
	· ※ #å ○ ∑ □ △ □ ↓ 120.0 □ ∧ 林/=###材 · ↓ 120.0 ○ ↓ ○ ↓ ○ ↓ ○ ↓ ○ ↓ ○ ↓ ○ ↓ ○ ↓ ○ ↓ ○ ↓ ○ ↓ ○ ↓ ○ ↓ ○ ↓ ○ ↓ ○ ↓ ○ ↓ ○ ↓ ○ ↓		 ・ 回 早面図と新曲的 ・ 早面図表示 表示フロア ・ 平面図表示 ・ 切断面 ・ 切断面 ・ 切断面 ・ 切断面 ・ 以新面 	配置および上1707 拾髪場と上部線 相対範囲 実線 0.10 mm	56	
	・ 図 構造 ・ □ □ □ □ □ □	-	 ・ 回 早面図と新面図 ・ 中面図表示 ・ 切断面 ・ 切断面 ・ 切断面 ・ 切断面 ・ 切断面 ・ 切断面 	配置および上1707 投影線と上部線 相対範囲 東線 0.10 mm なし	56	
	・ 図 構造 ・ 図 構造 ・ ① 工 ・ ① 工 ・ ① 工 ・ ① 工 ・ ① 工 ・ ① 工 ・ ① ・ ① ・ ① ・ ① ・ ① ・ ⑦ ・ ① ・ ⑦ ・		 (回) 早面図と新面図 予二回図表示 ・ 口助面 ・ ・ ・	配置および上1707 投影線と上部線 相対範囲 実線 0.10 mm なし	56	
	・ 図 構造 ・ 図 構造 ・ ① 工 ・ ① 工 ・ ① 工 ・ ① ① 工 ・ ① 120.0 ・ ① 120.0 ・ ① 120.0 ・ ① 100.00 % F ・ ① モデル 材質上書き: ・ ① モデル オグスチャ配置を整列: ・ ⑦ オグルーク ・ ⑦ オッシューク ・		 ・ 回 早面図と断面図 ・ 早面図表示 表示フロア ・ 平面図表示 ・ 切断面 	配置および上1707 投撃線と上部線 相対範囲 東線 0.10 mm なし 実線	56	
	 ○ 近 ○ 近 ○ 近 ○ 近 ○ 近 ○ 12 ○ 12 ○ 12 ○ 1200 ○ 5403.0 ○ 5403.0 ○ 5403.0 ○ 100.00 % ○ 5403.0 <li< td=""><td></td><td> 一 学員図表示 表示フロア 平面図表示 切断面 ・ 切断面 ・ 切断面 ・ 切断面 ・ 切断面 ・ 如新面 ・ 如新面 ・ 知新面 ・ 日本 ・ 日本 ・ 日本 ・ 日本 </td><td>記憶および上1フロア 投影線上上部線 相対範囲 実験 0.10 mm なし 実験 0.10 mm</td><td>56</td><td></td></li<>		 一 学員図表示 表示フロア 平面図表示 切断面 ・ 切断面 ・ 切断面 ・ 切断面 ・ 切断面 ・ 如新面 ・ 如新面 ・ 知新面 ・ 日本 ・ 日本 ・ 日本 ・ 日本 	記憶および上1フロア 投影線上上部線 相対範囲 実験 0.10 mm なし 実験 0.10 mm	56	
	・ (※) 構造 ・ (※) 体徴		田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	記 記 思 認 お び 上 17 ロ 7 投 彩 線 と 加 端	56	
	· ○ □ □ <td< td=""><td></td><td> ・ 回 平面図と断面図 ・ 平面図表示 ・ マ面図表示 ・ 切断面 ・ 切断面<!--</td--><td>配置および上1707 投影税と上部場 相対範囲 実線 0.10 mm なし 実線 0.10 mm 協議 0.05 mm</td><td>56 76</td><td></td></td></td<>		 ・ 回 平面図と断面図 ・ 平面図表示 ・ マ面図表示 ・ 切断面 ・ 切断面<!--</td--><td>配置および上1707 投影税と上部場 相対範囲 実線 0.10 mm なし 実線 0.10 mm 協議 0.05 mm</td><td>56 76</td><td></td>	配置および上1707 投影税と上部場 相対範囲 実線 0.10 mm なし 実線 0.10 mm 協議 0.05 mm	56 76	
	・ 図 構造 ・ 図 構造 ・ ・			記憶および上1707 投影線上部線 相対範囲 実線 0.10 mm なし 実線 0.10 mm 協線 0.05 mm 協線	56 56 76 	
	 ○ 近 ○ ボ ホ材-細切 ○ ゴ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		 ・ 回 平面向と新面向 ・ 平面向表示 ・ 切断面 ・ 切断面 ・ 切断面 ・ 以下の 切断違いこれへと主書を ・ 論罪 ごと 投影線 ・ 論罪 ごと 投影線 ・ 上部線 ジ上 記線へい ・ 逆り 正部線 ・ 近り 聞い線 ・ 逆り 聞い線 	記園および上1707 投影線と上部線 相対範囲 実線 0.10 mm なし なし 実線 0.05 mm 抽線 0.05 mm	56 56 76 76	

■1階管柱の設定

- ツールボックスの「柱」の右側「▶」 をクリックし、お気に入りー「計画」 ー「★柱 □管柱 105*-105」を選 択します。
- 「図形作成法:単純」を選択します。
- ③ 図の赤の柱の位置に入力します。
- ④ 1 階の管柱は図の設定を参考に設定を 確認します。

副 選択した柱の設定					?	>
公,				選邦	(内容:1福)	美可能:
肛柱	105.0	-			-	
で セグメント	105.0					
中面図と断面図						
同 構造解析のパラメータ						
目 分類とプロパティ	2560.0					
	T T					
	Ш. Щ.				-	
	- 図構造					
	DOI				105.0	- 7
	□□ 木材-軸組材 →				105.0	14
		ð	%		2560.0	
		r H	Hered		2000.0	
	City and but he				100.00	96
	N TYALL .					
	• () t fh					
	 ↓ (1) モデル 材質上書き: 	707	チャ配置を	· 藍列:		~
		702	チャ <mark>陀園</mark> (<u>・</u> 藍列: デクスチャ	をリセット	N
	 () モデル べ) モデル 材質上書き: () ■ ペイント・ター * () ■ ペイント・ター * 	792	チャ <mark>記畫</mark> (・整列: デクスチャ	전기선ット	~
		702	チャ <mark>記園</mark> (・整列: アクスチャ	환기선yト	
		702	チャ配置る	・型列: アクスチャ	をリゼット	~
	() 12/0 ⁻¹ () 15/4 () 15/4 () ■ 6/0 ⁻ -9- () () ■ 6/0 ⁻ -9- () ■	702	チャ配置な	:型列: アクスチャ	호 <u>)</u> 년9F	

■2 階管柱の設定

- ツールボックスの「柱」の右側の▶
 をクリックし、お気に入りー「計画」
 -「★柱 □管柱 105*-105」を選 択します。
- 2 階の管柱は図の設定を参考に設定を 確認します。

	ł	
公、	選択内容:1 編集	可能
D: 4	105.0	
▶ セグメント	105.0	
回 平面図と断面図		
同 構造解析のパラメータ	P	
国 分類とプロパティ	2560.0	
	▼ □1 位置決め	
	上部12次9:	
	2. 2FL (配置フロア + 1) ✓ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
	-283.0	
	-43.0	
	配置フロア: 1.1FL (現在) ~	
	基準レベル: GL > ソーンとの関連: 1557.0 ソーン培売	
	- 火山 終端の切断および基準軸	
	上部: 躯体の基準軸:	1
	1 1 x 90.00	1.
	F的: 2 / く く (4 90.00* 参回表: 0.00*	
	② 使 ・ キャンセル OK	(
☆ ・	游 訳内密: 1 編集	可能
D' #		
四 ヤガメント	105.0	
	100.0	
日 構造解析のパラメータ		
国 分類とプロパティ	2560.0	/
	* (6) 亚南南北新南部	
	> ⊕ 早高限と新高関 ■ 甲面間表示	
	 ・ (※) 平面成と新賀数 ・ 平面成もあぶ 表示プロア・ 「映画プロア全て 企業 	ł
	・ 田 平面図と画面図 ・ ・ ・	1
	田 平高成と新高数	ł
	・回訳 単調成を新聞数 単調成をあ 表示20.7 製造70.7金で 企 年間の表示 企 20.00回 企 「可加表示」 砂油和 会 会 の (1)<	1 3 •
	 ● 日 単風吹と解異的 ● 単風吹を洗 表示207< 転還207全て 全 中面回表示 投始後と加減 合 切然面 相対期回 一日 ● 切解面 ● 切解面 ● び解面 ● び解面 ● び解面 ● び解面 ● び解面 	1 3 : -
		‡ 8 •
		1 2 2
		1 3 :]
		1 3 1 1
		+ 9 - 1
		1 3 - 1 - 1 -

第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています ©2021 公益社団法人日本建築士会連合会 59

■通し柱・1 階管柱・2 階管柱の入力

- グリッドスナップをオンにして、図の位置に柱を配置します。
- ② 通し柱は赤丸位置に入力します。
- ③ 柱入力位置でクリックをします。

3.13.3. **梁の入力**

■梁の設定

- ツールボックスの梁ツールをダブル クリックして、設定を開きます。
- 図のように2階床梁、小屋梁の設定 をそれぞれ確認します。

□2 階床梁の設定

- 位置(高さ) 2階床 -43
- 終端の切断 90°
- 表示フロア 配置フロアのみ
- 平面図表示 投影線と上部線
- 投影モード ハイブリッド

⊘ 選択した梁の設定		7
众,		選択内容:1編集可能:
C 2	240.0	R
■ セグント	105.0	Ċ
运 穴 ¹⁶		
中国図と断面図		
同 構造解析のパラメータ	3535.0	
■ 分類とプロパティ		
	- 💹 構造	
	DOI	240.0
	□□ 木材-輪組材_梁 ・	105.0
		H-H Broad
		100.00 %
	* 曰 モテル	
	材質上書き	テクスチャ配置を盛列:
		テクスチャをリセット
	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	・ 「」 セグメント接続部	
	・ 国 断面形状のオフセット形状変更	
	・ 目 分類とプロパティ	

ᢙ 選択した梁の設定	? ×	◎ 選択した梁の設定			?	×
公,	進択内容:1補集可能:1	合,		2	訳内容:1編集可	能: 1
 こ セグメント (位 ケ) (一 〒 平面図と新面図 (円 構造紙新の)(5メータ (5) 分類と方い(5メータ) 		重要 配 セダシント 振 完 完 完 同 調査が新闻2 同 構造解析のパラメータ 副 分類とプロパティ	240.0 105.0 3535.0			1
	- Q1 602200					
	2.25L (現在) 2.25L (現在) 2.25L (現在)	* 🖯	1 平面図と新面図			
		•	平面國表示			^
	基準レベル: GL ▶ 提合部順位:		表示707	配置フロアのみ	E	
	i 3357.0 🦞 🤤 🍨		平面回表示	投算器上上部展	꽹	
	▼ 55 終端の切断および基準軸		投影モード	7.479915		
	Man Miles		切断闻	要素全体	10	
				-9-10		100
	V ~~ 4a 30.00	L		+15		
	終了: オフセット:		19 UMBRAD	0.15 mm 30		
	1 7 2 90.00° 🖽 0.0	9	3 4000 PULLES	40		
		-	111日本語の			
	副回転:		↓ 相對相能的比較示 三、 約9399	910		
	(y	6	β/ TRIFFAR 前日 北京電話線パン	0.05 mm 00		
			1 A TREAM	0.05 (011 90		~
	(型) (型) ※構造 梁 ・ キャンセル OK	e	@ X構造 梁	・ キャンセル	ок	

□小屋梁の設定

- 位置(高さ) 軒高 0
- 終端の切断 90°
- 表示フロア 配置フロアのみ
- 平面図表示 投影線と上部線
- 投影モード ハイブリッド

🔗 梁のデフォルト設定	? ×	🖉 梁のデフォルト設定				? ×
立,	デフォルト	公,				デフォルト
₫梁	240.0	■梁	240.0			
🖻 セグメント	105.0	1 セグメント	L 105.0			
同分		र ना				
「同構造解析のパラメータ	1715.5	回 構造解析のパラメータ	1715 5			
目 分類とプロパティ			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
	- ⁽⁷⁾ #浩					
	□□ 木材-軸組材_梁 ・ □ 105.0 □		▼ ⊡13 平面図と断面図			
	A % 1745 5		▼ 平面図表示			^
			表示フロア	配置フロアのみ		<u></u>
	100.00 %		平面図表示	投影線と上部線		2
			投影モード	ハイブリッド		
			切断面	要素全体		i:
	▶ <u></u> セグメント接続部		▼ 切断面			
	▶ 密 断面形状のオフセット形状変更		□ / 切断線	実線		
	▶ ▶ ▶ → ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●		□ ↓ 切断線ペン	0.15 mm	30	
			y る 切断塗りつぶしペン上書き	なし		~
	● ② ※構造 菜 ● 「キャンセル」 ○K □		● ※構造 梁	• 4	キャンセル	ОК

第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています ©2021 公益社団法人日本建築士会連合会

62

□2 階床 小屋梁 の 入力

- 下記図面を参考に入力する箇所の最初と最後でクリックをして入力します。
- ② 図形作成法は 単一

3.13.4. 火打ちの入力

□火打ちの設定

・2 階床火打ちの設定は下記を参照

・小屋組火打ちの設定は下記を参照

🖉 選択した梁の設定	? 🗙
公,	暹 択内容: 1
₫ 梁	D.1 90.0
▶ セグメント	90.0
「「」	
戸構造解析のパラメータ	912.2
■ 分類とプロパティ	
	▼ □: 位置決め
	0.0 🗁 🗖 🖽 0.00°
	配置207: 3. 軒高 (現在) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	基準レベル: GL ▶ 接合部順位: 6200.0 【↓ 日本
	▼ 8⁄三 終端の切断および基準軸
-	開始:
-	終了: カック 2gg 45.00* オフセット:
	輪回転: (交 ⁽⁾ 90.00*
	② ※構造 火打 ● ○ □ □

□火打ちの入力

下記図面を参考に火打ちを入力します。

グリッドスナップをオンにして入力しま

す。

入力するはじめと終わりにクリックしま す。

